

自転車とトライアスロンの合宿地に名乗り

市は、2020年に開催される東京オリンピックの自転車とトライアスロンの2競技で、メキシコ代表選手が大会前に練習などを行う事前合宿地として立候補しました。

県とメキシコオリンピック委員会は同国の各競技選手団が県内で事前合宿を行うことで合意しました。5月25日に広島市内で開催された協定締結式には市から天満市長が出席し、委員会の幹部などへ、国際規模の自転車競技会を中央森林公園で、国内トップレベルのトライアスロン大会を佐木島で開催している実績や、飛行機や新幹線で東京へ移動しやすいなどといった市の強みをアピールしました。

合宿地は県と同委員会が現地を視察



▲メキシコオリンピック委員会に市の強みをアピールする天満市長

するなどして最終決定します。自転車競技の合宿地には尾道市、トライアスロンには福山市も名乗りを上げており、市は今後の誘致活動に力を入れ、内定獲得をめざします。

☎スポーツ振興課

☎0848・647219

大和地域に地域おこし協力隊員が着任

市は先月1日、大和地域で活動する地域おこし協力隊員に、兵庫県神戸市出身の小泉甲祐さんを委嘱しました。

小泉さんは当面、地域を知ることを目的に農業法人などで活動し、将来的には休耕田の活用や特産品の開発・販売をめざします。

小泉さんは大学を卒業後、兵庫県内の婦人服の卸売会社で営業職として勤務。妻の出身地である大和町を訪れるうちに自然の豊かさや住民の人柄に魅了され、協力隊員を志しました。

委嘱式で天満市長は「若い力で地域の活性化に取り組んでほしい」と激励。小泉さんは「営業で培ったコミュニケーション力を生かし地域の魅力を発信していきたい」と意気込みを語りました。小泉さんの任期は来年3月末までで、最長3年まで延長が可能です。

市の地域おこし協力隊員は現在、鷺



▲天満市長と握手を交わす地域おこし協力隊員の小泉甲祐さん

浦町で1人活動しており、小泉さんは2人目。市は本郷地域、久井地域でも1人ずつ募集しています。

☎地域調整課

☎0848・676184

まちづくり戦略検討会議を開催

市は先月7日、まちづくりに関する施策などについて有識者から意見を聞く「まちづくり戦略検討会議」の今年度の初会合を開きました。

委員は学識経験者や会社経営者ら10人。座長に福山市立大学大学院教授の前山総一郎さん、副座長に広島市立大学特任教授の佐藤俊雄さんを選任しました。

会議では、委員が公開の場で市の施

策を点検する事業レビューを、秋頃に開催することを決めました。また、過去3回の事業レビューの総括として、累計で約2億円以上の経費削減ができた一方で、レビューに参加する市民判定者の応募率が約1.5パーセントにとどまっていることなどについても意見が交わされました。

委員からは「市民判定者の応募率を上げるために、制度の周知や募集を始める時期を早めるべきでは」という指摘が出ました。



▲今年度の方針について話し合った検討会議の初会合

☎経営企画課

☎0848・676270